



小学校新一年生が安心して登校できる体制づくり

～自治の力を生かした3学期の取組～

いよいよ新一年生が入学する時期が迫ってきました。今年の学校生活を振り返りながら、さらに安心して通える学校にしていくために、子供目線での再点検を行い、4月に備えることが大切です。本号では在校生の「登校」を振り返りながら、安心・安全を考える体制づくりの取組事例を紹介します。

在校生の力を生かして安心・安全な学校づくり（例）

登校の様子を振り返り、新一年生が安心して登校できるようにしよう！

1. 情報を収集する

- 在校生へのアンケートを実施する
 - ・通学路にある危険な場所
 - ・雨（雪、風）の日に困ったこと
 - ・集団登校（徒歩、バス）で困ったこと

思いもかけぬ
ヒヤリポイントが
明確に！

- アンケートやボランティア等の聞き取りを一覧表にまとめる

一方で、日々登校や下校を見守ってくださる地域の方、ボランティア等から、気になることを聞き取っておくことも大切です。



2. 防災マップに整理する

- 危険場所を確認する
 - ・シールがたくさん貼られたところは一層注意が必要
 - ・新一年生にも伝えて、安心して通学できるようにしたい

実際に学習で児童が作成したものを活用すると、課題解決意識も向上します。



3. 子供の気付き・提案を今後の活動に生かす

- 対応策を考える

直接新一年生に関わる方法

視覚化 防災マップの工夫

信号を書き
加えよう

実際の写真を撮
って貼ろう

防災マップをプ
レゼントしよう

信号のない交差点の渡
り方を再確認しよう

狭い道ではすぐそ
ばを車が通るよ

体験した危険を自分たち
の言葉で発表しよう

- 活動可能な場を考える 「自分たちで説明しよう」

子供会を利用し
たらどうかな。

交通安全教室も
あるぞ。

4. 具体的活動を実施する

- 地区別子供会（3月～入学までに）
 - ・実際の登校をイメージし役割を確認する。
 - * 新一年生の見本となる歩き方等を確認する
 - * 新一年生宅に手紙を持っていき顔合わせをする
 - * 集合場所や迎えの時間を確認する

- 交通安全教室（4月）

- ・経験したヒヤリ体験を伝える。
- * 安全な歩き方、横断歩道の渡り方等を新一年生と一緒にやってみる
- * 集団下校で一緒に歩き、危険な場所を目と防災マップで確認する

社会に開かれた教育課程

これらの取組を学校の枠を超えて、地域人材やボランティアの方々に広げること
も考えられます。社会に開かれることで、さらに安心・安全な学校づくりが実現
します。

